

町では、『甲佐町史』編さん事業での取り組みの一環として、町内各地で文化財を含む資料を収集しています。この収集作業において、大変に貴重な資料が新たに確認できました。それらの中から町文化財に指定した4点を、町文化財保護委員の皆さんにご紹介させていただきます。

石造物に刻まれた甲佐の歴史

平成22年1月に町指定となった文化財をご紹介します。



緑川上流通漕碑

上揚・文化11(1814)年建立

この碑文は、江戸時代の役人・渡邊寛太によって記されたものです。碑文の内容には、緑川の水運が発達していなかったころの苦勞についてや、矢部の津留から砥用の桑津留までは下益城郡、桑津留から甲佐の豊内までは上益城郡が担当して川さらいを行ったことなどについて、近世における緑川改修の歴史が詳細に記録されている貴重な石碑です。



久米 壯亞さん

〔麻生原区〕

天文16(1547)年、阿蘇大宮司惟前の家臣で、陣ノ内館を造営した武将でもある宇治惟益夫婦が、生前に建てた石製の逆修碑です。

「逆修碑」とは、戦乱の絶えない戦国時代の中で、生前に自らの死後の冥福を祈るために建てた碑のことです。碑の上部中央に、仏を示す梵字「ぼんじ」を描き、その下部に建立者や建立時期を刻んだものが多く見られます。

町内にも多くの逆修碑が残されていますが、建立時期や建立者が判別できるものは珍しいです。また、町指定文化財「陣ノ内館跡」との関係も深く、資料的な価値が高いものです。



清村 一男さん

〔下豊内区〕

下豊内の逆修碑

豊内・天文16(1547)年建立



そのほかの 町指定文化財

今回紹介した、新たに町指定になった4点以外に、町内には、11の町指定文化財があります。



1	陣ノ内館跡	
	豊内	昭和55年指定
2	船津東前横穴群	
	船津	昭和55年指定
3	早川城跡	
	早川	昭和55年指定
4	早川六地藏	
	早川	昭和55年指定
5	鶉ノ瀬堰	
	豊内	昭和56年指定
6	円福寺跡阿弥陀如来座像	
	早川	昭和56年指定
7	目野薬師如来および十二神将像	
	中横田	昭和56年指定
8	甲佐(松尾・豊内)城跡	
	豊内	昭和58年指定
9	木造如来形座像(薬師如来)	
	上揚	昭和58年指定
10	緒方家文書	
	系田	平成14年指定
11	築の樋門	
	豊内	平成14年指定



津志田の逆修碑

津志田・天文20(1551)年建立

津志田の逆修碑は、周囲に江戸時代のものと見られる墓が多数寄せ集められています。碑の前面には、首を折られた地藏が置かれていて、これは、廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)によるものかとも考えられます。「無忠大徳」(「無忠」とは僧侶の名前で、「大徳」とは徳が高く立派な僧侶の尊称)と刻まれており、中世の信仰形態を考える上で貴重な資料であると言えます。



内村 龍一さん

〔吉田区〕



薬王寺の宝篋印塔

早川・天文16(1547)年建立



本田 荘一さん

〔上早川二区〕



宝篋印塔(ほうきょういんとう)とは、宝篋印陀羅尼を書いて収めた塔のことです。基本的には下から、基壇、基礎、塔身、笠、相輪と積み上げられていますが、薬王寺のものは、町内に残る石造物資料として、現存最古の資料の一つです。

基礎と基壇がなく、最下段の塔身と見られる部分に文字が刻まれています。風化しており判読できません。

室町時代末期〜戦国時代初期の信仰資料として貴重なものです。